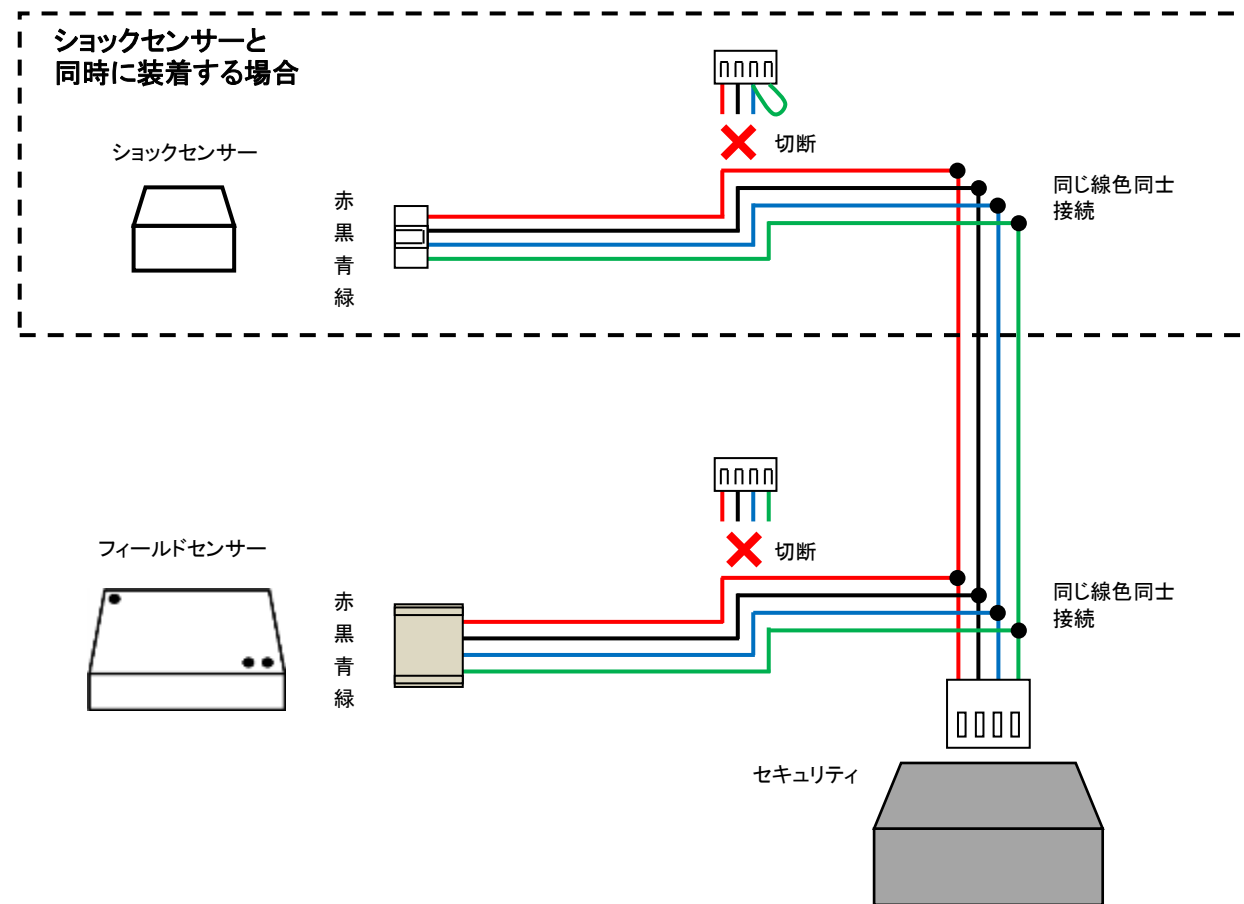


【重要】

- ・車両の盗難・破損等や誤配線による車両や本製品の破損につきましては、一切責を負えませんのでご了承下さい。
- ・防水処理をしていませんので、必ず車内に設置していただき、水濡れに注意して下さい。
- ・必ず感度調整を行って下さい。調整を行わなかった場合、誤作動の原因となります。

■ 配線方法

1. センサーに付属している4ピンのハーネスの白色のコネクタを切断します。
2. 当社セキュリティのセンサーハーネスに同色の線同士を接続します。センサーが複数ある場合は、それぞれ同色の線を並列に接続します。
3. センサーとセキュリティにそれぞれコネクタを接続します。



【参考】

・センサーを単独で ON/OFF される場合は、赤線の途中にスイッチを入れて下さい。
 全てのセンサーを OFF にされる場合は、セキュリティの機能で可能です。ロック中にもう一度ロックしていただければ、サウンドが短く3回鳴り、センサーの監視を止めるモードに移行します。詳細は製品の取扱説明書をご確認下さい。

【注意】

・セキュリティにも4ピンで同じ形状のハーネスが付属していますが、線の並びが違います。
 必ずセンサーにはセンサーに付属しているハーネスを接続して下さい。
 ・フィールドセンサーに付属しているカプラーは、セキュリティに付属しているカプラーと比べると、色が少し違います。
 フィールドセンサー : 薄茶色コネクタ
 セキュリティ : 白色コネクタ

■ 設置方法例

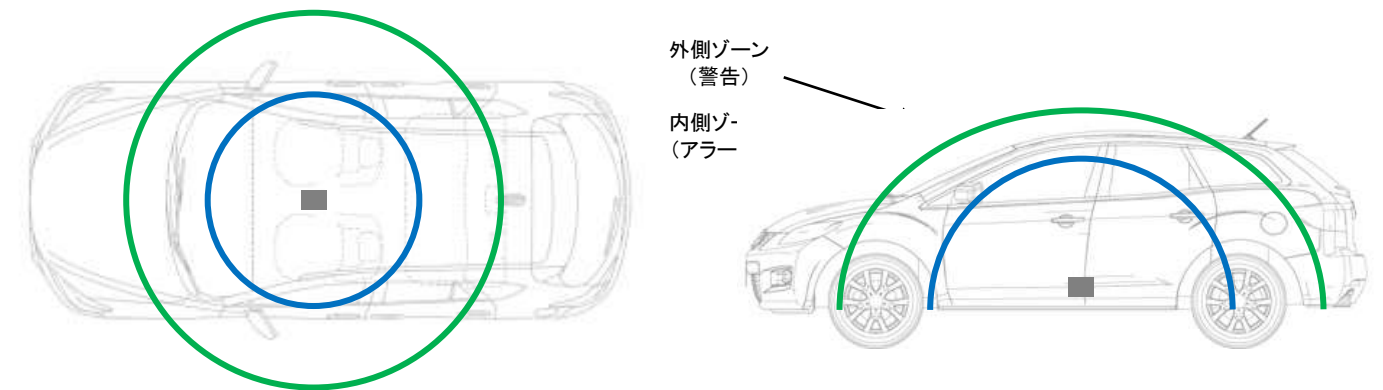
- ・運転席と助手席の間のフロアカーペットの下(上向き)
- ・センターコンソール内(上向き)
- ・天井(下向き)

【注意】

・樹脂等の裏側は問題ありませんが、鉄板の裏側はうまく動作しません。
 ・車両の両サイドのガラスにプライベートガラスや断熱ガラスなどが使用されていたり、金属含有率の高いウインドフィルムを貼っている場合は、車外の人を感知できない場合があります。ただし、ドア内の方は感知します。



■ 検知ゾーンイメージ

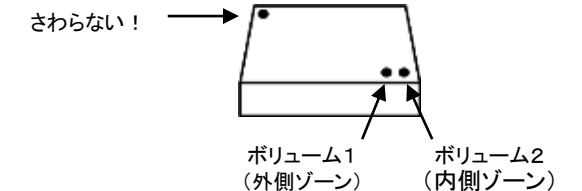


■ 感度調整方法

1. 車両から離れてセキュリティを ON(ロック)します。
2. 徐々に車両に近づき、警告が鳴ることを確認します。センサーの緑 LED が点灯します。
3. 感度が弱い(強い)場合は、右の写真のようにドライバーで橙色ボリュームを回して調整して下さい。窓から覗き込むと警告するぐらいに調整するのがお勧めです。
4. 外側の感度調整が終わった後に内側の感度調整を行って下さい。内側で反応すると警報が鳴り、センサーの赤 LED が点灯します。

【注意】

・ボリュームは弱い力で少しずつ回して下さい。
 ・センサーは、一度検知すると、動きが止まってからしばらくしないと再検知しません。反応すると一度離れ、5秒程度間隔を開けながら確認して下さい。
 ・感度を強くしすぎると、逆に反応しにくくなります。適切な感度に調整して下さい。



マイナスの精密ドライバー推奨